

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

November / 8 / 2013 # 8

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『聴く』
 - [2] Pepeのひとりごと
『癖??』
 - [3] おすすめ動画
『Allen Vizzutti, Clarke Study No 2』
『Triple Tonguing』
 - [4] 演奏のヒント！
『シラブル』
 - [5] 編集後記
-

[1] 旬な話題、気になる話題

『聴く』

最近、自分の好きな楽器や吹いている（担当している）楽器の演奏をあまり聴かない人がいる現状に直面することが数回ありました。

今の世の中、パソコンなどの機器とインターネット接続があればいつでも好きな音楽がネットから聴くことができたり購入することができたりしますよね。

一昔前なら、CD屋さんへ行って自分で厳選して購入し、それをドキドキしながら家で聴くという作業だったことが、今は通勤や通学の途中やちょっと寝る前に、というように、かなり身近に「聴く環境」ができました。

単純に考えると、今のこの便利な世の中（自分の吹いている楽器の演奏に簡単に接することができる環境）のほうが頻繁にいろいろな人の演奏を聴くような気がします、現状はそうではないようです。

もちろんすべての人がそうではありませんが、僕の感覚では、今のほうが昔に比べて自分の楽器の演奏に貪欲な人が少ないように感じます・・・（涙）。

楽器演奏の上達や、自分の音楽の成長には、いい演奏をはじめたくさんのいろいろな演奏を聴くことがとても重要です。聴くことで学ぶこと、新しい発見などが見つかるんです。

なので、僕はこのメールマガジンでオススメ動画と称して（いろいろな意味で）僕の中で感じることもあるものを紹介しています。

何がいいとか上手だとかは、人によってさまざまにいいと思います。まずはいろいろなものを聴いてみましょう！
そうすることによって、自分の好みの音や演奏がわかってきますよ。その自分の好きな演奏や曲は、必ず自分の演奏技術の上達に役に立ってくれます！！
あと、自分の好きな演奏や好きな曲は、自分の成長によって変わってくるものだと僕は思っています。
どんどんと好きな演奏を乗り換えていき、自分の音楽の世界を広げていきましょう！！

[2] Pepeのひとりごと

『癖??』

先日、レッスンのために岡山の倉敷市に行きました。いろいろな生徒たちと接する機会が持て、とても充実した時間を過ごすことができました。

いつもレッスンの最後に質問はないか聞くのですが（その日にやったレッスン内容に関することをはじめ、その他の苦労していることや個人的な悩み、また長年不思議に思っていたことなど

なんでも。笑)、倉敷でのレッスンの最後の質問で、初めて受けた質問がありました。

それは

「(Tromboneの演奏時)指をベルに当てる(置く?)のはどうしてですか?響きが減ってしまう、などの何かマイナスなことはないのですか?」
という質問でした。

いやあ、これには驚きました(苦笑)。

僕は自分で、3ポジションで演奏するときに無意識に指をベルに当てています。自分では知っていたのですが、まさかこれを疑問に思う子がいて質問をされるとは(笑)。

僕のTromboneでの演奏を見てもらえるとわかると思いますが(笑)、3ポジションの時には(きっと常に)指をベルに当てていると思います。

どうしてかということ、これで確認をしているんです。
いちいちスライドを見るわけにはいかないので(たまに目で確認はしますが)、僕の場合は3ポジションの時に指をベルに当てて、それでスライドの位置を確認&微調整しています。

ベルに指を当てることに関しては、すごく細かいところを言うと確かにベルの響きは遮られてしまうと思います。
でも、僕はこのくらいのは気にしません(笑)。
気にしなくてもいい程度だと僕は思っています。

そのベルの響きのことを言う前に、いい加減なポジションで演奏しないようにしっかり注意するべきだと思いますねえ。

僕のように演奏中に指をベルに当ててしまうというTrombone吹きのみなさん、ここにそのくらいなことは気にしなくていい!!と
思っている奏者がここに一人はいますからね。
正しい音程でいい音楽を、これからも自信を持って作って
いきましょう!! :D

[3] おすすめ動画

『Allen Vizzutti, Clarke Study No 2』

[http://www.youtube.com/watch?](http://www.youtube.com/watch?v=aUYv8iZXizs&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=314)

[v=aUYv8iZXizs&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=314](http://www.youtube.com/watch?v=aUYv8iZXizs&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=314)

今回は、信じられないテクニックの動画を紹介します。
まずは僕の好きなTrumpet奏者の一人、Allen Vizzuttiさんの

マスタークラスからの動画です。

H.L.Clarkeのエチュードを応用したのですが、テンポと安定感とブレスコントロールがすごいです！！

このくらい安定した基礎練習をやりたいですねえ（笑）。
目標があって努力している限り成長はあると信じて僕はやっています！
さあ、今日も頑張るぞ！！：)

『Triple Tonguing』

[http://www.youtube.com/watch?](http://www.youtube.com/watch?v=NehTLR6vUVw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=157)

[v=NehTLR6vUVw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=157](http://www.youtube.com/watch?v=NehTLR6vUVw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=157)

2つ目は、イギリスの有名なブラスバンド（ブリティッシュスタイルの「本当の」ブラスバンドです）「The Cory Band」のTenor Horn奏者、Owen Farrさんのトリプルタンギングの動画です。

Tenor Horn（テナーホーン）とは、日本の小学校とかでの金管バンドでいう、いわゆる「アルトホルン」のことです。楽器は同じです。ただ、メーカーによって呼び名が違うらしく、日本ではYAMAHAが「アルトホルン」という名称で楽器を製造、販売しているためこの呼び名になったようです。

タンギングもすごいのですが、何よりも驚いたのが彼のブレスコントロールです！！

「すごい肺活量だ！」と驚く人もいるかと思いますが、こういうものは肺活量の大小でできる／できないが決まるわけではありません（ま、肺活量はあったに越したことはないのですが。笑）。

吸った空気をどのように使いながら吹くか、息のコントロールと、それを可能にする奏法の両方にすごいテクニックが必要になってきます。

長いフレーズではこのブレスコントロールがとても重要になってきますし、何より管楽器の演奏はこのブレスコントロールが基礎になると思います。
思い通りに演奏するためにも、いろいろと工夫をしながらブレスコントロールのトレーニングもしていきましょう。

どのようにしていいのかわからない人は、今年度僕が担当させていただいているバンドジャーナル誌の楽器別ワンポイントレッスン「ユーフォニアム」をぜひ参考にしてみてください（5月号から書いています）。

*このワンポイントレッスンの担当が終わると、この連載でやったことを中心に練習方法などを別の形で発表していきたいと考えています。その時にはまたここでも発表しますね！

[4] 演奏のヒント！

『シラブル』

「シラブル」という言葉、聞いたことありますか？
シラブルとは、楽器を演奏する際（音を出しているとき）にどのように発音しているのか、ということです。
例えば「ア」とか「ウ」など。

このシラブル、金管楽器を演奏する人は、必ず演奏している時に何かしらの発音をしていると思います。
それにちょっと注意を向けてみて下さい。

実はこのシラブル、とても重要な役割をするし、このシラブルを調節することでいろいろな問題が解決されることも多々あるんです。

例えば、高い音や低い音、低い音から高い音への移動やその逆、滑らかに吹くとか音の粒を出す吹き方などなど。

これらをうまくコントロールしていくために、シラブルをうまく変化させながら対応していくと、変なふうにあンブシュアを変えてしまうことを防げるとともに、他のこととのバランスを保ちながら調整しやすくなります。

一般的に（基本的に）、低い音では「オ(o)」、高い音では「イ(i)」、真ん中の音（それらの中間）は「ウ(u)」で演奏します。

しかし、曲の雰囲気や音の表情のことを考えて、それらを音域に関係なく変化させてみて下さい。

そうすると、なかなか滑らかに吹けなかったところが今まで以上になめらかに吹けるようになったり、ツブが揃わないところが揃ってきたりします（ツブを揃える場合は、常に同じシラブルで吹けているのかを確認してみましょう。長く吹き続ける時ほど、同じようにやっているつもりなので違ってきていたりするものですよ。

僕は、どの曲を演奏するときにもこの「シラブル」をいろいろと研究して演奏するようにしています。

みなさんも、ぜひやってみてくださいね！！

編集後記

11月、僕の大好きな季節（秋）のど真ん中ですが、思っていた以上に忙しく過ごしています（泣）。
忙しいことはものすごくありがたく、毎日充実した日々を過ごせているのですが、自分の中にある目標がなかなか達成できない日が続き、いろいろなことがうまくこなせない自分のがっかりする日々です（笑）。

前号でも書きましたが、2013年11月29日（金）に、愛媛県松山市でEuphoniumでのソロ・リサイタルを開きます。
どこかで耳にしたことのある曲からEuphoniumのオリジナル曲、他の楽器のために書かれた曲から数年前に書かれたばかりのまだ新しい曲など、いろいろな曲を演奏します！

リサイタル中に、演奏する曲の作曲家本人とネットで繋がって話も聞いてみようかと企画しています！！（面白そうでしょ？笑）

松山市にお住まいでない方にも少しだけでも楽しめるように、（今のところ）ネット中継もしようと考えています（もちろん無料です）。

詳細は、オフィシャルサイトやブログでその都度お伝えします！
ぜひオフィシャルサイトにもたまに寄ってみてくださいね！！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com